



なぜ魚の餌付けをしてはいけないのか



1

ダイバーやシュノーケラーが、パンや米、生ごみを魚に与えると...

2

魚たちはダイバーやシュノーケラーに近づこうと、自分のなわばりや巣を離れてしまい、捕食者に狙われやすくなる。

4

普段、藻類を食べている魚が人間が与える餌を食べるようになるため、サンゴについた藻類がどんどん育ち、サンゴの表面を覆ってしまい、窒息死を引き起こす。

3

通常は単独で行動している種類の生物が、集団で捕食するという不自然な行動を取るようになり、巣がより狙われやすくなる。

5

通常、魚は藻類を食べる際に、誤ってサンゴを捕食するオニヒトデのような生き物の卵も食べている。餌付けによってこうした行動がなくなり、サンゴの捕食者の数が増え、サンゴ礁へのダメージがより大きくなる。



ほとんどの海洋生物は、特定の食べ物を食べ、消化を助ける特定の細菌を持っています。合わない食べ物を与えられると、ふだん食べているものに適さない種類の細菌が胃の中に広がり、自然の食べ物を消化出来なくなり、餓死してしまう可能性があります。

